

東京工業大学物質・情報卓越教育院
「未来社会サービス創出ワークショップ」ファシリテート等業務委託 一式
仕様書

1. 概要

本教育院の実施する「東京工業大学卓越大学院プログラム事業(「物質×情報=複素人材」育成を通じた持続可能社会の創造)」(文部科学省補助事業)について、本教育院(TAC-MI)の登録学生が、自身の研究を社会サービスに繋げて考え、社会に役立つ新しい産業を提案する俯瞰力を涵養することができるよう、未来社会サービス創出ワークショップを開催する。

2. 目的

チームでテーマ「物質・情報を活用した新しい価値の創造により、社会の「分断」を助長しない 10 年後の未来社会を構想しよう！」に沿った課題に対し、理解を深め、解決策を練る。

3. 参加者

TAC-MI の博士後期課程 1 年生 19名、TAC-MI の会員企業社員 10名程度 計30名程度

4. 実施期間

2020年12月8日(火)～12月9日(水)

5. 実施方法

オンライン(ZOOM)にて開催

6. 仕様

以下の条件を満たし、ワークショップによるアイデアの創出に寄与すること。

(1)全般的要件

- ・ZOOMのホストとして、ルームの作成、参加者ヘルム URL の送付、参加者の入室許可のハンドリング、レコーディング、参加者のルーム割り等、必要な作業を行うこと。
- ・当日(計 16 時間。詳細は(2)のとおり。)、ファシリテーターとして、各チームのディスカッションを促進すること。
- ・ビジョンの作成において、ライブレコーディングを取り入れること。
- ・スタッフは、博士課程学生の活発な議論を促せる専門的知識と経験を持った人材として、少なくとも修士号の学位以上を有する者(博士号相当の学位を有していることが望ましい)であること。公的証明書の写し等の提出を求める場合がある。
- ・実施後に参加者からアンケートを取ること。
- ・企画立案内容、実施内容、実施後の参加者アンケート結果を報告書としてとりまとめ提出すること。
- ・プログラムは日本語を基本とするが、留学生も参加するため、必要に応じて英語を交えて実施すること。
- ・受注者は、コンペティション方式により業務を受注した場合には、企画書により提案された計画・内容及び履行体制により当該業務を履行すること。

(2)グループワークの概要とタイムライン

日にち	時間	内容
12/8	AM	オープニング・趣旨説明
	10:00-12:00	・テーマの提示 ・チーム内自己紹介
		【特別講演】 研究開発型ベンチャー企業の講師を招き、テーマに沿った講演を行わせること。
		・2日間のミッション提示
		【ワーク1】 ・各自の研究テーマを紹介 ・各チームで解消を目指す「分断」を決定 本学未来社会 DESIGN 機構の「未来シナリオ」を活用すること。 (https://www.dlab.titech.ac.jp/?_p=chronology)
	12:00-13:00	昼休憩
	PM	【ワーク1】続き
	13:00-18:00	・各チームが取り組む分断を発表
		【ワーク2】 ・「分断」を更に細かい課題や原因に分解し、自分たちのプロジェクトが10年間で達成すべき目標を定める
		【ワーク3】 ・10年後ビジョン ver.1 を作成 5年後:比較的具体的なマイルストーンを設定 10年後:社会的インパクトを重視した目標を設定
各チームのビジョンを発表→本学教員・ファシリテーターからフィードバック 翌日に向けてリサーチが必用な内容をピックアップ		
12/9	AM	【ワーク4】
	10:00-12:00	・10年後ビジョン ver.2 を作成
	12:00-13:00	昼休憩
	PM	【ワーク5】
	13:00-18:00	発表用10年後ビジョンを作成 各チームの10年後ビジョンを発表
		【ワーク6:個人ワーク】 ・研究者としての自分に取り組む10年プロジェクトを描く ※他の参加者・企業参加者との議論を推奨する (並行して、本学教員・ファシリテーターによる審議を行い、新規性賞、具体性賞、社会的インパクト賞を決定)
	表彰式	
	まとめ・クローズ	

7. その他

- (1) 本業務に必要な資料を作成する上で知り得た情報については口外しないこと。
- (2) 本仕様書に定めのない事項は、本学担当者の指示によること。
- (3) 上記(2)の指示によりがたい場合は、発注者・受注者で双方協議のうえこれを決定する。

以上